

福祉法学

~20◆

科目コード●CB3102

担当教員●志田民吉(左)
菅原好秀(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（権利擁護制度、成年後見制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。

到達目標

「福祉法学」の内容

- 1) 福祉法学の制度概要について述べるができる。
- 2) 基本的人権の制度趣旨(特に自由権・社会権)を、判例を踏まえて、説明することができる。
- 3) 成年後見制度の意義と活用方法について説明できる。
- 4) 憲法、民法、行政法の制度体系について説明することができる。

「更生保護制度論」の内容

- 1) 更生保護制度の制度概要について説明することができる。
- 2) 保護観察の制度趣旨と問題点について説明することができる。
- 3) 更生保護制度と社会福祉の関係性について、事例を挙げて解説できる。
- 4) 医療観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。

教科書

- 1) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度(第4版)』中央法規出版、2014年

(最近の教科書変更時期) 2014年4月

在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『福祉法学』『更生保護制度論』参照

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本原理の基本的人権と国民主権について述べなさい。
2 単位め	地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。
3 単位め	不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	行政救済について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1単位め
解説

この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。

2単位め
解説

憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

3単位め
解説

不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

4単位め
解説

主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、

公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

科目修了試験 評価基準

当該科目の内容理解がなされているかが重要であり、論述の分量（1問あたり400～800字程度）も評価対象となる。また、法の制度趣旨、意義を述べた上で、現実との関連から自分なりの視点から述べられていることも評価の対象となる。

参考図書

- 1) 志田民吉編著『改訂 法学』建帛社、2007年（改訂版）でなくても可
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第3版）』中央法規出版、2014年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年

この科目のスクーリングは新カリキュラム「福祉法学」「更生保護制度論」との合併授業のため、スクーリング試験は6コマめと最終コマに2回行われる予定です。